

## Buddycomの導入理由

# “Buddycomにより労働環境改善、サービス品質とお客様満足度の向上”

介護

老人ホーム



Buddycom導入後、お客様(ご入居者様・ご家族様・来訪の取引業者様)からの不満や苦情が減少しています。特に、ご入居者様をお待たせする時間が長く対応が遅いといった類の不満が目立って減少しており、これは連絡手段の改善が効果を発揮していることを示しています。

一方、情報伝達の即時性が向上し、スタッフの労働環境が改善されています。これにより、職場のモチベーションが向上し、働くスタッフがより効率的に業務に取り組むことができます。

また、情報共有がスムーズになることで、緊急時の対応が迅速に行われるようになり、ご入居者様の満足度が向上しています。



## 導入前の課題

以前、ホーム内での連絡方法はPHSの内線機能に限られていました。看護師が他の業務で忙しく、内線にすぐに対応できないことがよくありました。結果、緊急対応が必要な状況で連絡がつかず、対応が遅れたり、ご入居者様にご迷惑をおかけしたり、お待たせすることが度々起こっていました。

## 導入した理由

本導入の決め手は、現場スタッフの声でした。「すぐに相談ができる。スタッフを探さなくてもよい。ご入居者様をお待たせしなくてよい。他のホームにも早く導入すべきです」というアプリ型インカムのトライアル時のポジティブな意見が後押しとなりました。



# ハンズフリーで業務効率向上、有料老人ホームでの事務所と介護スタッフ間の情報共有

チャーム・ケア・コーポレーションでは有料老人ホームでの事務所と介護スタッフ間の情報共有にBuddycomを使用しています。ボタン1つで複数のスタッフと通話できるため、情報伝達の即時性が向上し、スタッフの労働環境の改善やご入居者様の満足度向上につながっています。

勤務ごとや退勤前には「勤務終了10分前です。終業準備に取り掛かってください」という定型文で音声を送り、定時退勤を促しているホームもあります。

定型文送信機能のように、Buddycomには現場スタッフのための機能が多くあり、時間がない現場のDXにつながっています。



## 「介護ロボット導入補助金」の適応が受けられ、導入を後押し

コスト面では、ほとんどの自治体で「介護ロボット導入補助金」の適応が受けられることも導入の後押しとなりました。(見守り機器・インカム・wi-fi構築コストの約3/4の補助が受けられました)

補助金のメインは見守り機器ですが、インカムやWi-Fiはセットで対象になることが多く、Buddycomのアプリ利用料は半額ほど、一部ホームでは周辺機器であるBbradio2/MKI-P3は全額補助されました。



### 導入検討中の方へメッセージ

Buddycomの導入により、スタッフのコミュニケーションが劇的に改善され、サービスの質が向上しました。緊急時や外出中でも即時対応が可能で、ご入居者様やご家族様の安心にも繋がりました。是非皆様にもBuddycomの導入をお勧めします。



株式会社サイエンスアーツ

Service: [www.buddycom.net](http://www.buddycom.net)

お問い合わせ: [info@science-arts.com](mailto:info@science-arts.com)

